



発行所 福井県大野郡和泉村
下穴馬 912-02
中竜 912-03

(昭和45年3月1日現在)

村の人口	2人
出生	3人
死亡	15人
転入	9人
転出	2,521人
総人口	1,308人
男	1,213人
女	681人
世帯数	681世帯
村の面積	332.26平方km

今月の目標

◎くらしの中に防火の習慣を
春は火災の多いシーズンです。
一、子供の火遊びは絶対に止め
させましょう。
二、油断は禁物、火の始末は充
分にしましょう。

無事故の誓い

一、飲酒運転は絶対いたしません
二、無免許運転は絶対いたしません
三、スピード違反を絶対いたしません
四、以上三つの事は絶対させません

三月定例会

議案二十四件を可決

昭和45年度 一般会計予算案など

第五十六回、和泉村議会定例会は、三月十六日から五日間の日程で開会され、村長の新年度施政方針についての説明や、昭和四十五年一般会計及び特別会計(五つの会計)予算案を始め、昭和四十四年度一般会計補正予算案(第五次)及び特別会計補正予算案、教育委員会、固定資産審査委員会委員等の選任同意、村道路線の認定など議案二十四件が提出され、いずれも原案どおり可決された。

昭和四十四年度一般会計及び特別会計予算の補正額および累計額は次のとおりである。

- 和泉村一般会計
今回の補正額 △三百三十七万七千円
累計 二億九千三十三万三千円
- 和泉村電源開発関係水没村林道付替事業特別会計
累計 一千五百五十九万九千円
- 和泉村国民健康保険事業特別会計
今回の補正額 六万 円
累計 八百八拾一万一千円
- 和泉村診療所事業特別会計
今回の補正額 二拾七万三千円
累計 七百六拾七万九千円
- 和泉村簡易水道事業特別会計
今回の補正額 △七拾万円
累計 一百八拾七万六千円
- 和泉村農業共済事業特別会計

累計 二百三拾七万一千円
尚、提出された主な議案は次のとおりである。

昭和四十五年度

村長施政方針の内容

第五十六回定例会において、昭和四十五年当初予算を提案するに当たり行なわれた。村長の施政方針演説の大意は次のとおりである。

一、村政に対する基本方針
最近における我が国経済は、異常な高度成長を遂げているが、それとはうらはらに、都市と山村僻地における地域格差は増大の傾向にあると云われ、これに関連を持つ過疎、過

- 一、和泉村公民館設置条例の一部改正について
 - 二、和泉村国民保険条例の一部改正について
 - 三、和泉村診療所条例の一部改正について
 - 四、昭和四十四年度和泉村一般会計及び特別会計補正予算案
 - 五、昭和四十五年和泉村一般会計及び特別会計予算案
 - 六、社会教育委員会に関する条例の制定について
 - 七、教育委員会委員及び固定資産評価審査委員会委員の同意を求めることについて
- 教育委員会委員 松田 守(下山)
固定資産評価審査委員会委員 新屋時蔵(朝日)

密の問題と共に、今や国の重要問題としてその対策が検討されつつある現情である。

私は、国策の施策如何と、吾々自身の努力によつて、僻地性の解消はある程度可能であると信じ、諸般の施策を強く推進する所存である。

先ず交通網の整備促進を基本方針として、農林業、観光、地下資源の開発に投資すると共に、民生、教育

等の一般行政における施策を推進し住みよい豊かな村造りを目標に、住民福祉の向上のため最善の努力を傾けたい。

二、施策の概要
越美北線の見通しは非常に明るく四十七年度営業開始は確定的である尚、北濃朝日間の南線延長については、予定線より調査線、建設線への格上げ陳情を強力に推し進める。

国道舗装については大野、油坂間が一部を除きほとんど完了するが、冬期間のバス運行を目指して、なだれ、落石等の防止策を具に強く要望する。

県道における只越ずい道の一部着工、大谷秋生大野線の改修、白山中居神社朝日線、上大納下山線の改良舗装に強力な運動を展開したい。

村道については、伊月線の新設工事と、部落内村道舗装約二千六百メートルを完了すると共に、冬期間除雪の円滑をはかりたい。

農林水産部門における指定事業として、林業構造改善事業は計画どおり本年度をもって完了する。それによつて、林道三本四、一一四米を含む総額一億七百余万円を消化し、将来の森林資源開発に大きな役割を果たすものと期待する。尚、今年度より、新たに指定を受けた山村振興法による振興山村特別開発事業は、向う四ヶ年計画をもつて実施され、その事業成果が期待されるわけである。その他一般補助事業として、林道荒

島線の開発延長及び林谷線の開設等林業王国を目指して投資すると共に水産事業として、ヒメマス、鯉、フナ等六十万尾を放流する計画である。観光事業としては、桜の五千本植樹、民俗館の石庭及び施設、展示品の充実、村営駐車場の新設、宣伝の強化等八百余万円を投ずる。

地下資源の開発における広域調査は、中竜地区における構造ボーリングが完了したので精密調査について公団、通産省に強く要望した結果、構造抗道による調査費が認められ、県負担分も四十五年予算に計上されたわけである。

その他、役場庁舎を二年継続事業として本年度着工すると共に、民生衛生関係におけるきめこまかい配慮をなし、義務教育、社会教育、保健体育等の充実、消防施設の強化等、一般行政面においても出来得る限り意を注いだわけである。

以上施策の概要について申述べたがこれらに要する費用として総額三億一千五百八十五万七千円を計上したわけである。これは村民一人当たり、十二万六千余円で、他市町村に比し、二、五倍五倍に相当する未曾有の大型予算となつたが、この財源には指定事業等における高率補助が幸いしており、今後施策の遂行と予算執行に当つては最大の効果を得るべく努力する所存である。村民各位のご理解とご協力を仰ぐ次第である。

地域開発による住民福祉の向上

一般会計 三億一千五百万円を計上 特別会計 二千六百二十万八千円

昭和四十五年当初予算は国の行政方向及び一般社会経済における景気の動向等に留意し、国の施策に乗った財源の効率的確保をはかると共に財源の弾力的運用をも考慮しながら、住民の要望を把握し、行政効果と経済効率を多角的に検討しつつ、村政の基本方針に基づく重点的投資が思い切つてなされておられ、一般行政面におけるきまこま配慮と共に、総額三億一千五百余万円に上る大型のものとなつた。

地域開発における資本投下が、その利用度及び周囲に及ぼす影響力において最も効率的であり、かつ将来の維持、財政負担をも考慮に入れたものではならぬことを考える時、予算編成のむずかしさがあり、然して住民生活の向上と福祉につながる喜びもあるわけである。

本村が、ダム建設を契機として打出した新しい村造りの基本方針は、年々その充実を見るに至つては、その施策の方向が、村の宿命とも云うべき、地域格差の是正と過疎に対処するものと云つても過言ではあるまい。

以下予算の概要を述べ、大方のご認識を乞ふ次第である。

本村の最大課題は、是正は、あらゆる施策を通じて実施されているが、その大きな一環となり、資源開発は、本村の地域的特色から見

和泉村歳入歳出予算44.45年度款別比較表

第1表	款別	金額		
		本年度	前年度	比較
歳入	1. 村税	128,195	137,619	△ 9,424
	2. 自動車取得税交付金	2,400	1,200	1,200
	3. 地方交付税	10,000	1	9,999
	4. 分担金及び負担金	4,642	2,181	2,461
	5. 使用料及び手数料	1,588	1,491	97
	6. 国庫支出金	29,448	12,472	16,976
	7. 県支出金	58,860	48,215	10,645
	8. 財産収入	14,240	7,035	7,205
	9. 寄附金	250	750	△ 500
	10. 繰入金	33,800	34,501	△ 701
	11. 繰越金	100	10	90
	12. 諸収入	734	733	1
	13. 村債	31,600	22,600	9,000
合計	315,857	268,808	47,049	
歳出	1. 議会費	6,319	5,619	700
	2. 総務費	76,781	38,956	37,825
	3. 民生費	8,868	5,998	2,870
	4. 衛生費	5,819	4,937	882
	5. 労働費	231	31	200
	6. 農林水産業費	87,013	73,249	13,764
	7. 商工費	9,690	5,933	3,757
	8. 土木費	57,740	49,000	8,740
	9. 消防費	6,532	5,988	544
	10. 教育費	34,103	50,604	△ 16,501
	11. 災害復旧費	1,530	4,294	△ 2,764
	12. 公債償還	18,136	17,526	610
	13. 諸支出金	20	4,567	△ 4,547
	14. 予備費	3,075	2,106	969
合計	315,857	268,808	47,049	

て、農林業の開発、地下資源の開発、観光資源の開発とされ、重要施策として、本年度予算における重点的投資目標となつてはいるわけである。中でも、本村の大半を占める山林の活用は、その将来に期待すること大なるものがある。即ち林業構造改善事業を中核とする生産基盤の整備は林道網の開設となり、生産施設の近代化事業は新しい山林開発の技術的方向に脱皮し、特殊林産物の加工施設は住民所得に直結するものである。林業構造改善事業は本年度をもつて完了するが、新しい指定事業として、振興山村特別改良事業が今年より四ヶ年間実施され、本年度事業として、桑園造成と淡水魚種苗供給施設が予定されている。予算総額に對する農林水産費の比重は二十八パーセントに、八千七百万円が計上されているのである。

次に観光事業として、八百余万を投資したことは、今後における村政の指向を示し、その成果に期待する。

また、村民の基本方針として、並々ならぬ決意をもつて当る施策に交通網の整備促進があり、国の地方生活圏構想に乗る改良舗装等、土木費における予算比率は十八パーセント、五千八百万円に及んでいる。更に越美北線の開通促進と国道道の改良舗装は資源開発と共に、住民の利便、福祉に寄与すること大であり、冬期交通確保と相俟つて最善の努力が期待される。

以上のような重点施策と共に懸案の役場庁舎の建設が二ヶ年計画をもつて実施され、本年度三千六百五十万円が予算化された。

【注】 予算の概要については、村長の施政方針にも示されており、重複の面もあるが併せ参照されたい。

次にこの大型予算の財源について述べる。村税収入が約一億二千八百万円、四〇、五八〇。国庫の支出金が八千八百万円、二八〇。その他繰入金や財産収入となつてはいる。

更に、これらの予算を財政的に性質別に分析すると、村税、自動車取得交付金、交付税などの一般経常財源が、一億四千四百万円、財産収入や繰入金などによる臨時的財源が、四千五百万円、計一億八千九百万円となり、予算総額の六九パーセントを占める。

一方、特定の用途目的のため収入される特定財源は建設事業等の補助の如く臨時的なものや保育所の措置費及び老人検診の補助などの毎年収入されるべき経常的特定財源をあわせ、一億二千六百万円

昭和45年度における主な事業の内訳

第2表	費目	事業名	事業費	財源内訳				補助率	説明
				国庫支出金	県支出金	起債	その他一般財源		
農業費	振興山村集団桑園転換造成	3,421	2,396		684	341	70%	受益面積 2.8ha、内税率(50%)、55.20%、村10%	
	上大納水路改良事外3	1,210	200			1,010	17		
小計		4,631	2,596		684	1,351	56		
林業費	林道荒島線開設事業	28,650	20,055	3,800		4,795	70		
	林谷線	9,550	6,685	800	1,910	155	70	県70%、村10%、受益者20%	
	野々小屋線	2,919	1,751	400		768	60		
小計		41,119	28,491	5,000	1,910	5,758	69		
林業構造改善事業費	林道根倉線開設事業	14,750	10,325	2,200		2,225	70		
	特殊林産物加工施設補助	11,704	8,778			2,926	75	事業費14,630千円、国50%、県10%、村20%、受益者20%	
	素材生産施設事業補助	1,481	1,111			370	75	* 1,853 * * * *	
	造林施設事業補助	1,769	1,326			443	75	* 2,212 * * * *	
小計		29,704	21,540	2,200		5,964	73		
水産費	淡水魚放流事業委託費	2,600				2,600		ヒメマス40万尾、鯉10万尾、ホケナシ10万尾	
	振興山村種苗供給施設補助	2,675	2,341			334	70	事業費3,343千円、国50%、県20%、村10%、受益者20%	
小計		5,275	2,341			2,934	44		
土木費	除雪ブルドーザ購入費	5,505	3,000			2,505	54	D60	
	道路新設改良工事	28,323	16,160	7,300		4,863	57	村道昇降機改良12,000、村道舗装12,523、* 十六納線 * 3,800	
	橋梁新設改良工事	10,600	7,040	2,100		1,460	66	山原橋改良6,000、取付道3,500、古田橋1,100	
	小計	44,428	26,200	9,400		8,828	59		
総務費	役場庁舎建設費	36,500		15,000		21,500		建設費35,000、委託料1,500	
	小計	36,500		15,000		21,500			
合計		161,657	26,200	54,968	31,600	2,594	46,335	50	

で三パーセントとなる。前記経常一般財源一億四千四百万円に對する義務的な経常支出の割合は八三パーセントとやや高率を示している。

本年度予算における住民一人当たり十萬六千円という数字は、他市町村の最高五倍にあたり、建設途上にある意欲ある予算規模と云えさうである。

第3表 収入の状況 昭和45年度当初予算における財源内訳及び類似団体比較表

Table with 10 columns: 区分, 予算額(A), 臨時なもの(B)特定財源, 臨時なもの(B)一般財源, 差引経常的なもの(C)特定財源, 差引経常的なもの(C)一般財源, 予算額(A)の構成比(%), 決算額, 決算額(B)の構成比(%), 類似団体(昭和43年度)決算額, 類似団体(昭和43年度)決算額(B)の構成比(%). Rows include 1.市町村税, 2.娯楽施設利用税交付金, etc.

第4表 性別経費の状況

Table with 10 columns: 区分, 予算額(A), 臨時なもの(B)特定財源, 臨時なもの(B)一般財源, 差引経常的なもの(C)特定財源, 差引経常的なもの(C)一般財源, 予算額(A)の構成比(%), 経常一般財源充てん率(D)の構成比(%), 決算額, 決算額(B)の構成比(%), 類似団体(昭和42年度)決算額, 類似団体(昭和42年度)決算額(B)の構成比(%). Rows include 1.人件費, 2.物件費, 3.維持補修費, etc.

昭和四十五年国民健康保険事業など五つの特別会計当初予算は、総額二千六百二十拾二万八千円で、その内訳は次の通りである。

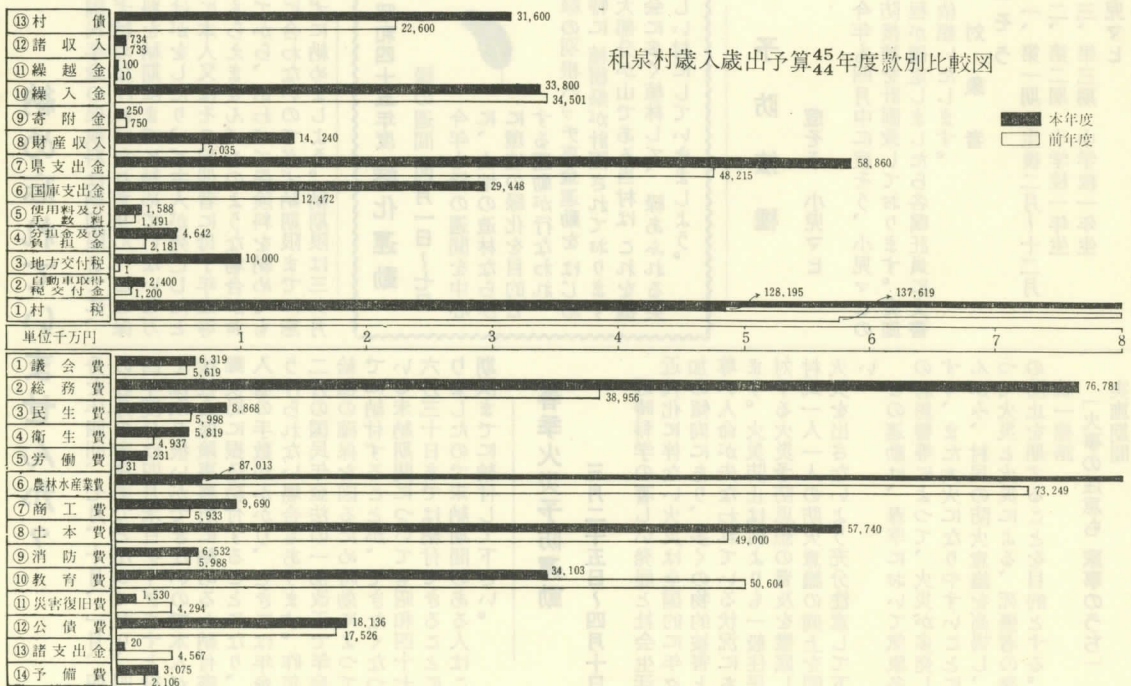
- 一、国民健康保険事業特別会計 八百七拾五万二千元
二、診療所事業特別会計 三拾八万二千元増
三、電源開発関係水没村林道付替事業特別会計 七百七万円

- 前年度比較 三拾八万二千元増
前年度比較 二百五拾七万二千元
前年度比較 八拾六万二千元減

昭和四十五年度特別会計予算

前年度比較 三百四拾八万九千円減
前年度比較 二百五拾七万二千元
前年度比較 八拾六万二千元減

和泉村歳入歳出予算44年度款別比較図



役場の窓

社会開発と産業開発

今後の村づくりによせて (その2)

市町村の務めは、住民の身近かにかつて、日常生活における便益を提供し住民の総力を結集して、住みよい、豊かな地域社会をつくることとされて...

情報には、出てゆく情報(インフォメーション)と、入ってくる情報(インテリジェンス)の二つがあります。

政治であるという言葉があります。広報では、この説得ということが大事であり、その前提として、どうしたら読まれるか、話を聞かせることができるかというコトは、ふりむかせるAttention 読ま(聞か)せ I interest. Desire わか(聞か)せ I understand...

話が変わりますが、朝日の班長をしておりまして、村から住民の皆さんに流れる情報(通知等)は、昨年の一月から十二月末日までに、総数九八件内訳に、総務課三十一件、産業観光課十九件、住民課三十五件、税務課十三件であります。

ら出る情報があります。村へ入る情報(意見、要望等)は部落懇談会、区長会、村会等でありますが、案外に少ない現状ではないかと思われま...

村誌編纂の現況について

昭和四十一年より編纂が続けられていた村誌は、今秋迄には完成したいという熱田先生(京大教授で主任編纂委員)のお話しと承わり安心した。

一、それぞれ部門別担当の先生方(全部で十二名)がほとんど大学教授と

ウ・ウェイ・コミュニケーションであり、公平に見て、県下の市町村の何れにおいても欠けている。入ってくる情報を捉え、整理し、評価、反省して行く優れた手法であり、社会教育の大切な一端をなすにいたるべきばかりでなく、社会、産業開発をなす前提方式である...

社会教育委員長

二、京大を始め各大学紛争によつて、その間作業が進まなかつたこと
三、始めの総括責任者であつた京大の小葉田先生が転勤されたこと
四、最終段階における文章表現の統一整理など

編纂に当つておられる先生方も、權威ある立派な村誌をと、一生懸命やつておられるので、その完成を鶴首し、内容を括目して期待したいものである

国民年金の保険料を

納め忘れていませんか?

国民年金の保険料は納期限までに、必ず納めなければなりません。この保険料を納期限までに納めていないと...

昭和四十五年緑化運動

緑の週間 四月一日〜七日

今年も緑の週間を中心にして、山地の造林ならびに環境の緑化を目的とする運動が行なわれ、緑の羽根バッジ募金運動をはじめ、特に植樹祭が計画されており、これを機会に多く植林して、緑あふれる美しい村にしていきたい。

春季火災予防運動

三月二十五日〜四月十日

近時科学の著しい発展と社会生活の近代化に伴ない火災は全国的に年々増加の傾向にあり、多くの物的被害と、尊い人命が失なわれている状況にあり、火災防止は何よりも一般住民に対する火災予防思想の普及を徹底し、村民一人一人の防火意識の向上を図り、火災を出さないよう充分注意して下さい。

この運動は、春季において気象条件の悪影響等によつて、火災が多発しやすいが、村民の防火意識を高揚し、もつて火災と火災による、死傷者の発生の防止を期することを目的とする。

統一標語 「火事の注意も家事のうち」 実施期間 三月二十五日から四月十日まで

予防接種

痘そう 小児マヒ

今年も四月中に痘そう、小児マヒの予防接種を計画致しております。実施日程が確定しましたら各囀託員に文書で依頼いたします。

対象者

- 痘そう
一、第一期 生後二月〜十二月
二、第二期 小学校一年生
三、第三期 中学校一年生
小児マヒ
一、生後三ヶ月〜十八ヶ月の間に

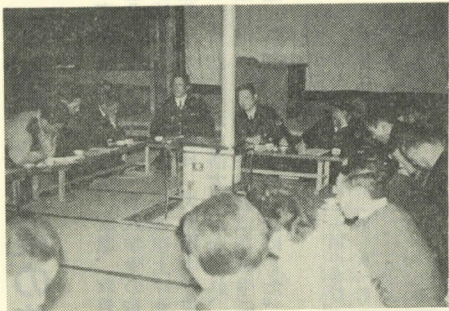
二回

明るく正しい選挙シリーズ

一票に示せ世論の底力

買収、収賄は村の恥

「地方自治は、民主主義の小学校」という言葉がよく使われておりますが...



思わぬ罪があなたを...

選挙違反の中で最も悪質なものの一つに「買収供応」という罪があります...

和泉村消防計画行事

消防一般教育指導実施

火災の未然防止と被害を軽減するためには、消防力もさることながら、村民自身による自主防火がたいせつである。

良いものだろうか。政治の権威の失墜そしてさらには、民主政治の前途に対する不安と疑惑を、私たち主権者の勇氣と自覚によって、たちきろうてはありませぬか。

税金のお話

今月は軽自動車税についてお話いたします。普通自動車に対する税金は県税ですが、軽自動車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車、原動機付自転車等に対する税金は、総じて軽自動車税と呼び、主たる定置場のある市町村に於て四月一日現在の所有者に課税することになって居ります。

人のうごき

Table with columns for birth (出生) and death (死亡) records, listing names and locations.

うづき(四月)



今年は戌年、近年当村内でも犬を飼っている家庭が随分沢山ふえてきた。

Advertisement for 'ガンコヤシ' (Ganko Yashi) featuring a cartoon illustration of a car crash and a person at a '役場窓口' (Town Office Counter).

物愛護と云うことで大変結構なことでありませぬ。しかし、犬の飼主はもつと愛犬家らしく、しつかり世話をしなくてははしきいものです。

ご入学ご卒業の皆さんおめでとう

卒業生の皆さん進学、就職、お目出とうございます。又、新入学生の皆さん晴れの入学、心から祝福申し上げます。三月、日、朝日、大納両中学校でそれぞれ卒業式が盛大に行なわれ、希望に胸ふくらむ卒業生達は在校生に見送られたい出多き学舎を後にした。

本校中学卒業生進路状況

進路別	朝日中学校		大納中学校	
	男	女	男	女
進学者	二九二	二二五	二六六	二二五
進学就職者	二二四	一三二	二一五	一一二
就職者	一一一	一一二	一一二	一一二
合計	六二二	三八二	五八三	五三三

入学

◎朝日小学校(一〇名)

児童名	性別	部落名	保護者名
谷口浩二	男	朝日	重徳
下出英樹	男	朝日	幸徳
新井生美	女	長野	真澄
深谷由美子	女	朝日	昌義
西陽子	女	角野	重士
大谷いづみ	女	川合	瑛士
長田照美	女	朝日	重士
柏田ゆみ子	女	朝日	重士
末永由美子	女	朝日	重士
新屋喜美江	女	朝日	重士

◎大納小学校(四一名)

児童名	性別	部落名	保護者名
田中一代	女	上大納	弘一
坂口文代	女	上大納	昭彦
佐々木幸夫	男	上大納	昭彦
黒崎勝	男	上大納	昭彦
幅下真由美	女	上大納	昭彦
阿部孝寿	男	上大納	昭彦
清水智子	女	上大納	昭彦
古川幹博	男	上大納	昭彦
中島昭二	男	上大納	昭彦
諏訪恭子	女	上大納	昭彦
加藤順子	女	上大納	昭彦

佐々木玲子	女	英憲
田中正義	男	正照
宗信	男	国夫
松崎兼士	男	雅次
大久保敬子	女	政栄
丸山綿子	女	義治
尾山由香理	女	哲夫
阿部洋二	男	義昭
東出恵美	女	義昭
吉垣さゆり	女	保昭
大久保由加里	女	光次郎
加藤真治	男	弘等
野本靖司	男	吉長
石沢亮司	男	孝文
岩井潤一郎	男	三郎
寺山豊	男	義和
中村敏和	男	繁樹
西原寿恵	女	繁樹

子供と交通安全から守ろう

春の交通安全県民運動

四月一日～四月三十日まで

この運動は、新入学(園、所)時期に際し、こどもの生活環境の変化および行楽期を迎えての道路交通事情の激化に伴ない人命尊重の見地からとくにこども、高齢者等の交通事故の絶滅を目標とし、すべての歩行者、運転者、運転者の雇○はもろん、全県民の交通安全思想の向上を図るとともに正しい交通マナー及び交通ルールの実践を習慣づけることを目的とする



◎カッツとする心の動きが事故のもと
◎無理するな速く見えても車は速い

新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)	新入生と 自分(のことは) 自分(のことは) 自分(のことは)
西野徹也	男	善孝	刀祿利明	男	多喜夫	曾根美智代	女	久雄	春好
工藤久勝	男	久雄	今藤龍治	男	春好	野田正人	男	重雄	勝雄
平野由利子	女	重雄	工藤昌幸	男	勝雄	高部明彦	男	俊雄	博光
原子幸子	女	博光	宮本忠幸	男	康忠	比田和彦	男	三好	三好
谷正太郎	男	三好	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美
谷信弘	男	喜美	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美
谷信弘	男	喜美	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美
谷信弘	男	喜美	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美
谷信弘	男	喜美	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美
谷信弘	男	喜美	西美佐枝	女	喜美	今井明美	女	喜美	喜美

米寿を迎えられた方に

記念品を贈呈される

簡易保険事業は創立以来五十余年広く皆様の御利用により益々発展し、地方を通じて福祉の増進に役立っています。大正、昭和の困難な時代を社会の中堅として生きてこられて昨年米寿を迎えられた次の方に深く感謝し、これからは尚一層御健康で長生きされますようお祝いとして郵政大臣から金杯を贈呈されました。

金杯を贈呈された方
朝日 啓太郎(朝日)
巢守 富太郎(後野)



あなたの権利を正しく確実に守る公正証書

- 一、あなたの大切な契約や取引には公正証書を作っておきましょう。
- 二、公正証書は国の機関が作るのだから確実です。
- 三、公正証書は法務大臣が任命する公正人(判事、検事、法務局長、弁護士)を長年つとめた人から選ばれます。力があつたとき裁判官にかけたと同じ効力があります。
- 四、公正証書は裁判にかけたと同じ効力があります。
- 五、公正証書は法務大臣が任命する公正人(判事、検事、法務局長、弁護士)を長年つとめた人から選ばれます。力があつたとき裁判官にかけたと同じ効力があります。
- 六、公正証書は法務大臣が任命する公正人(判事、検事、法務局長、弁護士)を長年つとめた人から選ばれます。力があつたとき裁判官にかけたと同じ効力があります。
- 七、公正証書は法務大臣が任命する公正人(判事、検事、法務局長、弁護士)を長年つとめた人から選ばれます。力があつたとき裁判官にかけたと同じ効力があります。

春さきにふえる少年非行

例年少年の非行が急にふえるのは三月～四月ですが、これは進学、卒業、就職等で少年の気持が動揺し、それに春休みの解放感から非行が芽ばえるのです。非行の傾向は保護者が子供のことに無関心な家庭の少年に強く見受けられます。各ご家庭でも次のような非行のきざしがなく見守つていただきたいと思ひます。

▼非行のきざし▲

- ◎親兄弟にことごとく反抗したり、乱暴な言葉やヤクザ風な言葉を使う。
- ◎クラス会費、本代などとひんぱんに金を「せがむ」ようになる。
- ◎髪型や服装が急になつたり、不良じみた態度をとる。
- ◎家で買つてやらないものを持つたり、借りたとか交換しかたと弁解する。

